

ミレニアム宣言のビジョンを実現するために必要な戦略、イニシアティブ、資金調達を推し進めるなかで、世界は、ケアと保護をもっと必要としている子どもたち
排除され、見えない存在となっている子どもたちが忘れ去られることを許してはならない。

THE STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2006

THE STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2006

世界子供白書 2006

存在しない子どもたち

存在しない子どもたち

世界子供白書 2006

**THE STATE OF THE
WORLD'S CHILDREN
2006**

2006年 世界子供白書

2006年3月17日発行

著： ユニセフ（国連児童基金）

訳： 平野裕二、（財）日本ユニセフ協会広報室

発行： 財団法人日本ユニセフ協会（ユニセフ日本委員会）

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

電話 03-5789-2016 ファクス 03-5789-2036

Website: www.unicef.or.jp

ユニセフ（国際連合児童基金）2005

印刷： （株）第一印刷所

The State of the World's Children 2006

United Nations Children's Fund (UNICEF), 2005

UNICEF, UNICEF House, 3 UN Plaza,

New York, NY 10017, USA

Website: www.unicef.org

この白書はユニセフ（国連児童基金）が2005年12月に発表し、平野裕二氏と（財）日本ユニセフ協会広報室が翻訳したものです。本書の無断転載・複製はお断りいたします。

転載をご希望の場合は（財）日本ユニセフ協会広報室にお尋ねください。

この白書は再生紙を使用しています。

表紙写真： UNICEF/HQ94-1393/Shehzad Noorani

謝辞

本白書は、有益なコメントやその他の貢献を行ってくれたユニセフ内外の多くの人々からの助言と寄与なくして製作することはできなかった。重要な貢献を行ってくれたのは以下の国・地域のユニセフ現地事務所である（英語名のアルファベット順）：アルバニア、アルメニア、ボリビア、ボツワナ、ブラジル、ブルキナファソ、カンボジア、カメルーン、中国、コロンビア、ドミニカ共和国、エクアドル、エジプト、ギニアビサウ、ヨルダン、ケニア、キルギス、マダガスカル、マレーシア、メキシコ、ミャンマー、ネパール、ナイジェリア、パレスチナ自治区、パキスタン、パプアニューギニア、ペルー、モルドバ、セルビア・モンテネグロ、シエラレオネ、ソマリア、スーダン、旧ユーゴスラビア・マケドニア、ウガンダ、ウクライナ、ウズベキスタン、ベネズエラ、ベトナム。ユニセフ本部の計画部・政策企画部・広報部、各ユニセフ地域事務所、イノチェンティ研究センター、英国国内委員会および米国国内委員会からも情報・意見が寄せられた。

ハンナ・ポーラック、エレナ・ポニアトフスカおよびベサニー・スティーブンスの特別寄稿に心から謝意を表す。

編集部

Patricia Moccia（編集長）；David Anthony（編集）；Chris Brazier（筆頭執筆者）；Hirut Gebre-Egziabher；Paulina Gruszczynski；Tamar Hahn；Annalisa Orlandi；Meredith Slopen.

方針ガイダンス

Elizabeth Gibbons（政策企画部国際政策課長）；David Stewart（国際政策課上級政策顧問）。

統計表

Trevor Croft（政策企画部統計情報課長）；Nyein Nyein Lwin；Edilberto Loaiza；Mary Mahy；Tessa Wardlaw，Sandi Zinmaw.

製作・翻訳

Jaclyn Tierney（製作担当エディター）；Allyson Alert；Marc Chalamet；Emily Goodman；Amy Lai；Najwa Mekki；Lisa Mullenneaux；Carlos Perellón；Catherine Rutgers；Edward Ying, Jr.

写真調査

Ellen Tolmie（写真担当エディター）；Nicole Toutounji.

表紙デザイン

Michelle Siegel（デザイン・マネージャー）；Maggie Dich.

マップ

National Geographic Society Mapping Services；Boris De Luca.

デザイン・版下作成

Prographics, Inc.

印刷

Brodock Press

頒布

Aaron Nmungwun（頒布担当マネージャー）；Elias Salem；Chetana Hein.

世界子供白書 2006

目次

まえがき

コフィ・A・アナン 国連事務総長.....	vi
アン・M・ベネマン ユニセフ事務局長.....	vii
第1章.....	1
第2章.....	11
第3章.....	35
第4章.....	59
第5章.....	85
注.....	89
統計.....	95
データについての一般的留意事項 ...	96
5歳未満児死亡率の順位.....	97
1. 基本統計	98
2. 栄養指標	102
3. 保健指標	106
4. HIV/エイズ指標.....	110
5. 教育指標	114
6. 人口統計指標	118
7. 経済指標	122
8. 女性指標	126
9. 子どもの保護指標	130
表中の国の分類.....	132
人間開発の進展を測る 表10について	133
10. 前進の速度.....	134
用語解説.....	138
ユニセフ本部と地域事務所.....	139



子どもたちとの約束

要約.....	1
パネル ミレニアム開発目標はミレニアム・アジェンダにおける中心的な開発目標である ...	2
子どもが排除され、見えない存在になっているとはどういうことが.....	7
図表 1.1 ミレニアム開発目標が達成されれば、この10年間で数百万人の子どもたちの生活が変容する	4
1.2 5歳未満児死亡率の3分の2削減に向けた世界の進展	5
1.3 現在の進捗度では、数百万人の子どもたちがミレニアム開発目標から取り残される	5
マップ 万人のための教育.....	8



排除の根本的原因

要約.....	11
パネル 後発開発途上国の子どもたちはなぜ取り残されるおそれが大きいのか.....	13
所得格差と子どもの生存.....	20
ロマのコミュニティと子どもたちの周縁化	24
障害とともに生きる ベサニー・ステイブンス.....	26
「子どもとエイズ」世界キャンペーン ...	30
図表 2.1 後発開発途上国は子どもの人数がもっとも多い.....	12
2.2 最貧国に住む子どもたちは初等・中等教育の機会を失うおそれがもっとも大きい.....	14
2.3 子どもの5人に1人が5歳未満で死亡する国々のほとんどは、1999年以降大規模な武力紛争を経験している	14
2.4 「脆弱」な国家は同時に最貧国でもある	15
2.5 HIVとともに生きる人々の間で子どもが占める割合が増えつつある	16
2.6 一部の地域では、女子のほうが男子よりも初等教育の機会を失う確率が高い	19
マップ 適正な生活水準.....	32

3



4



5



姿の見えない子どもたち

要約..... 35

パネル

路上の子どもたち

エレナ・ポニアトフスカ..... 42

ナイジェリアでこら留される子ども・若者たち..... 44

早婚と瘰癧(ろうこう)..... 47

保護的な環境..... 52

子どもの保護とミレニアム開発目標のつながり..... 53

図表

3.1 開発途上国における出生登録..... 37

3.2 親を失った18歳未満の子ども(サハラ以南のアフリカ、アジアおよびラテンアメリカ・カリブ海諸国)..... 40

3.3 開発途上国における早婚..... 46

3.4 児童労働撤廃の経済的費用および便益の総計(2000-2020年)..... 48

3.5 強制的な商業的性的搾取..... 49

3.6 開発途上国における児童労働..... 50

3.7 無条件に最悪な形態の児童労働・搾取に従事している子ども..... 51

マップ

子ども時代を保護する..... 56

すべての子どもを対象に

要約..... 59

パネル

子どもたちのためのミレニアム・アジェンダ達成状況をモニターする統計的手段... 61

子どもの権利を充足するうえで予算がどの程度効果的かをモニタリングする、南アフリカの取り組み..... 66

子どもの権利指標：エクアドルとメキシコにおける子どもの権利状況を評価する... 70

ユニセフ 子どもに関する倫理的報道の原則と指針..... 76

児童労働と企業の社会的責任：児童労働と闘うためのユニセフ-IKEA(イケア)プロジェクト..... 78

存在しない子どもたちの生活に光を当てる映画製作者たち..... 80

図表

4.1 主要な国際条約の締結状況..... 63

4.2 保護・発達に対する子どもの権利のための予算配分(ザンビア、1991-2001年)..... 65

4.3 信仰に基づいて社会奉仕活動を行う組織が、親を失った子どもおよび権利を侵害されやすい立場に置かれた子どものために進めている主な活動(アフリカ南部・東部諸国)..... 73

マップ

共通の未来..... 82

ともに行動する

要約..... 85

パネル

国連女子教育イニシアティブ(UNGEI)：教育における男女平等を現実のものとする..... 87

Excluded and Invisible



国連事務総長からの メッセージ

国連はその創設以来、世界の子どもたちのためにより良く、より安全で、より平和な世界を築こうと努め、また各国政府に対しては、自国の若き市民の自由と幸福に対する責任を果たすよう迫ってきた。

国連60周年を機にミレニアム宣言とミレニアム開発目標を実現するという約束を再確認するなかで、私たちは子どもがこの取り組みにおいて中心的な位置を占める存在であることも再確認している。国連は、私たちの世代のために存在するという以上に、未来の世代のために存在しているのである。

今年の『世界子供白書』は、ユニセフの60周年の始まりと時を同じくして刊行される。白書が光を当てるのは、人々の目から隠され、あるいは目に見えていてもないがしろにされることの多い世界 脆弱性と排除に彩られた世界である。そして白書は、私たち全員に、子どもたちの権利実現のために声を上げ、私たちの保護を必要としている子どもたちのために行動するよう求めている。

ミレニアム開発目標に関わる活動が始まってから5年が経過し、これらの目標が多くの形で子どもたちに関係していることがわかってきた。子どもたちのために成果を収めることができれば 子どもたちとの約束を果たし、子ども時代、健康、教育、平等および保護に対する権利をすべての子どもが享受できるようになれば、あらゆる年齢層の人々のために成果を収めることができるはずである。私たちにはそれができると信じている。

コフィ・A・アナン
国連事務総長

まえがき

ユニセフが毎年発行している『世界子供白書』はこれまで、HIV/エイズ、女子教育、栄養、児童労働、乳幼児期の発達といった具体的問題に焦点を当ててきた。それらを総合すれば子どもたちのために大いなる進展があったと言えるが、いまなお前進が決定的に必要な分野も存在している。

今年の白書は、過去の成果を享受することができなかった数百万人の子どもたち、排除され、あるいは「姿の見えない」子どもたちを取り上げる。教育や命を救ってくれるワクチン接種を受けることができない子ども、十分な保護を受けられずにいる子どもたちのことである。子どもたちに必要なサービスを届けようと大きな努力が払われているにも関わらず、いまだに数百万人の子どもたちが毎年命を落としているのだ。

世界は、ミレニアム開発目標という形で、よりよい未来を創るためのロードマップ（道筋）を作り、合意した。これは、2000年に189カ国が採択したミレニアム宣言から派生したものである。ミレニアム開発目標では、極度の貧困と飢餓、乳幼児・妊産婦死亡率、HIV/エイズその他の疾病に対処するための数値目標が掲げられるとともに、普遍的初等教育の普及、ジェンダーの平等、持続可能な環境の創出、開発のためのグローバル・パートナーシップを2015年までに促進することとされている。ミレニアム開発目標は、平和・安全保障・連帯・共同責任が成り立つ世界というミレニアム宣言のビジョンを現実のものとするための枠組みなのである。

このビジョンを実現することができるかどうか、私たちはいま、その重要な岐路に立っている。実現することができれば、その成果は大きい。ミレニアム開発目標が達成されれば、2015年までに推定5億人が貧困から脱し、2億5,000万人が飢餓を免れ、5歳の誕生日を超えて生きることにはなかったはずの3,000万人の子どもたちの命が失われずにすむ。

ミレニアム開発目標は、極度の貧困と飢餓の根絶から安全な飲み水の供給に至るまで、ひとつひとつが子どもたちの健康・幸福に関連している。これらの目標を達成することができなければ、今を生きる子どもたちにとっても、また彼らが子ども時代を生きのびておとなになったときにも、破滅的な帰結が待ち受けているだろう。

現在の進捗度では、たとえば、2015年にもおよそ870万人の5歳未満の子どもたちが死亡することになる。けれども乳幼児死亡率の削減目標を達成することができれば、そのうち380万人の子どもの生命を救うことができる。このように、ミレニアム開発目標を達成できるかどうかは数百万人の子どもたちにとって生死に関わる問題であり、前進するか後退するかという問題にほかならない。また、目標の達成は、子どもたちが暮らす国や社会の発展のためにも不可欠である。

ただし、ミレニアム開発目標の達成に力を入れるあまり、たとえ目標が達成されたとしても取り残されてしまう数百万人の子どもたちを見過ごすことにはならない。それは、もっとも援助を必要としている子どもたち、もっとも貧しく、もっとも脆弱な立場に置かれ、搾取・虐待されている子どもたちのことである。

このような子どもたち、いまのところその多くは法律、プログラム、調査研究、予算の埒外に置かれている。手を差し伸べるには大きな困難がともなう。けれども、この挑戦に正面から向き合って初めて、私たちは子どもたちとの約束を果たすことが可能になる。

ミレニアム開発目標は子どもたちが必要不可欠なサービスや保護を受け、より多くの参加の機会を得られるようになるための触媒にはなるが、それ自体が目的なのではない。私たちは、世界中の子どもたちがよりよい世界で生きていけるよう、できる限りの努力を尽くさなければならない。子どもたちは、その努力にふさわしい存在なのである。



A handwritten signature in black ink, which appears to read 'Ann Menon'. The signature is fluid and cursive, extending across the width of the page.

アン・M・ベネマン
ユニセフ事務局長